

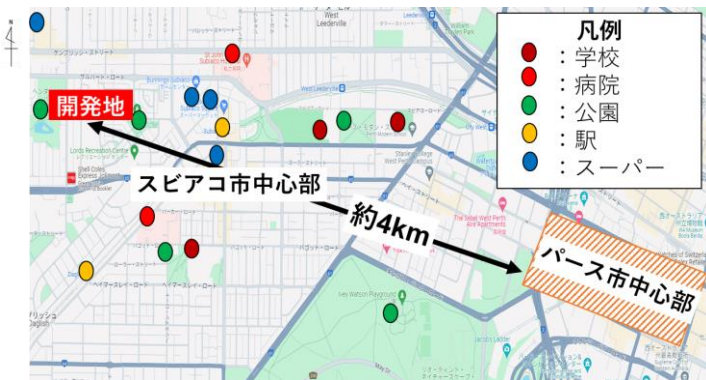
2024年6月26日

西豪州での ESG 型不動産開発事業「スピアコ開発」に参画 ～2030年までに豪州を中心とした海外不動産事業へ600億円の投資を計画～

東京ガス不動産株式会社

東京ガス不動産株式会社（社長：佐藤 裕史、以下「東京ガス不動産」）は、このたび、豪州現地法人東京ガス不動産オーストラリア（TOKYO GAS REAL ESTATE AUSTRALIA PTY LTD、以下、「TGREAU 社」）を通じて、西豪州のスピアコ市での不動産開発事業「スピアコ開発」に参画します。当事業は、豪州デベロッパーであるシダー・ウッズ・プロパティーズ（Cedar Woods Properties Limited、以下「シダー・ウッズ社」）との分譲マンションの共同開発事業です。

<位置図>



<現地風景>



スピアコ市は、西豪州の州都であるパース市の中心部から約4キロに位置し、周辺には学校、病院、公園が点在するなど、利便性及び住環境の質が高いエリアです。当事業では、2期に渡り、3棟の分譲マンションの開発を行うことで、社会課題である住宅不足の解消に寄与するとともに、一部をシニア層向けとすることで、高齢化社会にも対応します。

敷地の一部は公開緑地を設け、マンション開発を通して一体的な緑地帯の形成を図ることにより、周辺環境との調和を目指します。敷地内には、中庭を設けることで、居住者のコミュニティ形成を促進し、魅力的な毎日を創出します。また、日射の効率利用、自然喚起を促進するデザインや太陽光パネルの設置などを行い、豪州のエネルギー効率指標 NatHERS^{*1}の7以上の取得を目指し、快適性と環境性の高い住空間を実現します。

なお、東京ガス不動産は、海外不動産事業を成長領域と位置づけ、2030年までに豪州を中心として600億円規模の投資を図り事業を拡大します。また、当社が掲げる環境配慮型の不動産開発である「ESG型不動産開発事業」を海外でも実施し、街に新たな価値を創出するとともに、ネット・ゼロに貢献する取り組みを推進してまいります。

*1 「NatHERS (Nationalwide House Energy Rating Scheme)」:

豪州政府機関による住宅デザインにおけるエネルギー効率性に関するレーティングシステム (10段階評価)

<狭域図>



■ スピアコ開発概要

| | |
|-------|---------------------------------|
| 所在 | 2 Upham Street, SUBIACO WA 6008 |
| 主要用途 | 共同住宅（3棟） |
| 共同開発者 | Cedar Woods Properties Limited |
| 竣工予定 | 1期 2028年9月 2期 2029年10月（予定） |
| 開発地面積 | 9,784 m ² |

■ 東京ガス不動産オーストラリア概要

| | |
|------|---|
| 会社名 | TOKYO GAS REAL ESTATE AUSTRALIA PTY LTD |
| 設立 | 2023年1月 |
| 代表者 | 柴崎 裕之 |
| 株主 | 東京ガス不動産 100% |
| 所在地 | シドニー |
| 事業内容 | 海外不動産事業の企画推進・新規案件開発・参画プロジェクトの運営管理 |

■ シダー・ウッズ社概要

| | |
|------|--|
| 会社名 | Cedar Woods Properties Limited |
| 設立 | 1987年 |
| 代表者 | Nathan John Blackburne (Managing Director) |
| 所在地 | パース |
| 事業内容 | 不動産開発 |

■ 東京ガス不動産概要

| | |
|------|-------------------|
| 創業 | 1953年5月 |
| 代表者 | 佐藤 裕史 |
| 株主 | 東京ガス 100% |
| 所在地 | 東京都港区 |
| 事業内容 | 不動産開発、不動産管理・賃貸・仲介 |
| 従業員数 | 188名（2024年6月現在） |

以上